

環境

「ネコロジー」を合言葉に環境にやさしい物流の仕組みをつくります。

わたしたちヤマトグループは、企業の社会的責任である環境保護活動を「ネコロジー」と総称し、環境を意識した事業活動とともに、社員一人ひとりが常に環境保護の意識を持って、日々の業務に取り組みます。輸送の「包む」「運ぶ」「届ける」はもちろんのこと、その他のさまざまな取り組みを徹底的にエコロジー化して、環境にやさしい物流の仕組みを築きます。このような商品・サービスの提供を通じ、地域と共によりよい社会作りに貢献する企業を目指します。



輸送のエコ



新スリーター



台車

● 車両をできるだけ使わない集配の追求

新スリーター（リヤカー付電動自転車）や台車などを活用し、できるだけ車両を使わない集配を追求しています。また、必要な車両については低公害車へのシフトを進めています。また他社との共同運行や鉄道、船などを使ったモーダルシフトの推進により、輸送の効率化を図っています。



新スリーター

約5,000台



低公害車

約26,000台

(ヤマトグループの全車両の50.9%)



鉄道と船での宅急便輸送量

約45万トン

(鉄道コンテナ 約32,600台分)

● エコドライブの実践

ヤマト運輸独自の車載システム「See-T Navi」による、燃費など運転状況の見える化や、エコドライブ研修などによってエコドライブの精度を高めています。

TOPICS

お荷物を一度で届けることによって、再配達時のCO₂排出量を削減しています。

個人向け会員サービス「クロネコメンバーズ」とコミュニケーションアプリ「LINE」を連携したことで、LINEでも配達日時や受け取り場所を変更できるようになりました。また、複数の

事業者が利用できるオープン型宅配ロッカーの設置も進めています。こうした取り組みによって、お客さまの利便性を向上させると同時に、再配達時のCO₂排出量を削減していきます。



LINE画面

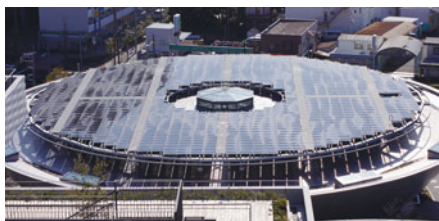
施設のエコ



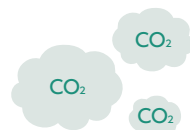
羽田クロノゲート

● 施設の省エネ化を推進

羽田クロノゲートでは自然エネルギーを利用した最新の環境技術を取り入れ、同様の規模の物流施設に比べて約46%のCO₂排出量を削減しています。



羽田クロノゲート内フォーラム棟の太陽光パネル



同様の規模の物流施設に比べた
羽田クロノゲートのCO₂排出削減量

約 **46%**

商品のエコ

● 環境配慮商品の開発推進

ヤマト包装技術研究所では、緩衝材が不要な包装資材や、廃棄分別が簡単にできる包装資材を開発しています。



緩衝材不要の「Neco fit」



廃棄分別の簡単な「クイックフィット」



機密文書リサイクルサービス



重要文書処理システム
「エコボックス」

● リサイクルの取り組み

ヤマトグループでは、お客さまの不要になった重要文書を回収・溶解処理し、リサイクルするサービスを提供しています。

地域とのエコ

● 地域の環境保護活動に参加

ヤマトグループ各社では、地域社会の一員として地域の清掃活動に積極的に参加しています。

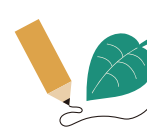


事業所周辺の清掃活動



● クロネコヤマト環境教室の開催

ヤマト運輸では、小学生を中心に環境教室などを開催し、環境の大切さを伝えています。活動開始以来の累計で2,993回開催し、延べ222,743人が参加しました。



2015年度 **204** 回開催



14,309 人参加

● リユース品の出張販売

ヤマトホームコンビニエンスでは、引越時などに発生する不要になった家電や家具を洗浄・修理し、「クロネコキャラバン」として全国各地で出張販売を行っています。



リユース品の出張販売「クロネコキャラバン」